

2019年度 第2四半期決算報告 (2019/4~2019/9)

ZEON

日本ゼオン株式会社

2019年10月31日

- 総括 P.2
- 業績サマリーおよび事業環境 P.3
- P/Lの概要 P.4
- B/Sの概要 P.13
- C/Fの概要 P.14
- 2019年度業績予想 P.15

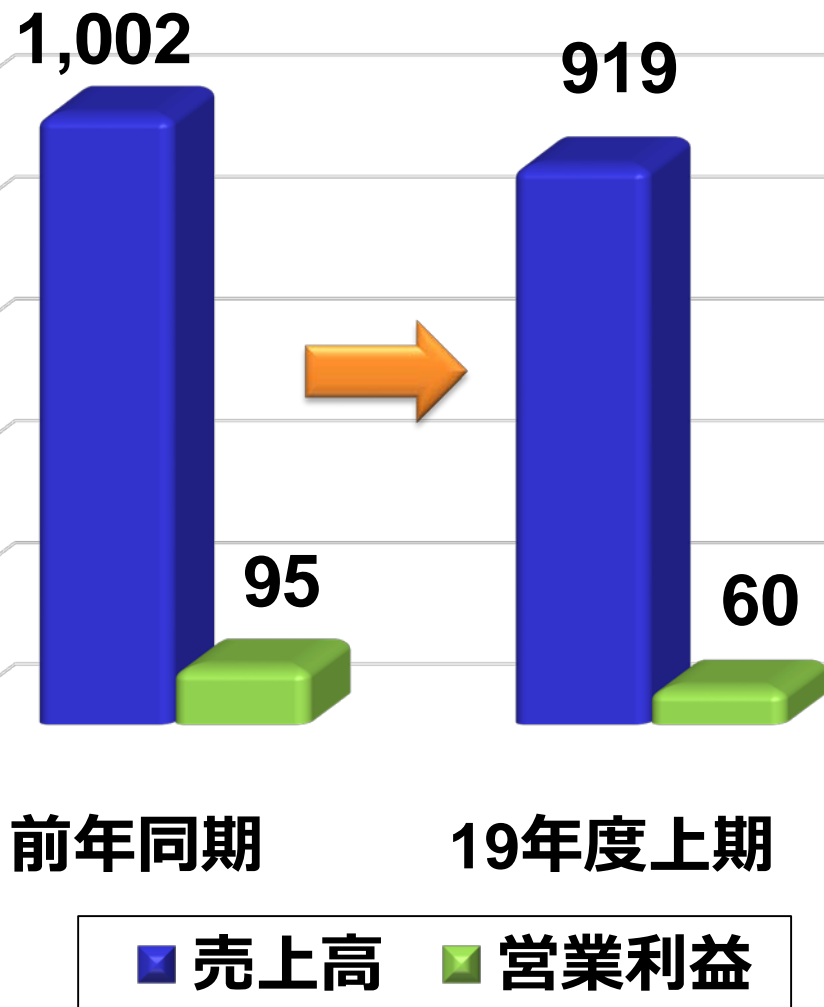
- 米中貿易摩擦に端を発する世界経済減速の影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期に比べて減少。売上高は対前年同期比△3%、営業利益は同△17%。
- エラストマー素材事業部門は減収減益、高機能材料事業部門は増収増益。光学樹脂および光学フィルム、電池材料が堅調に推移。
- 財務関連の各指標は堅調を維持。
- 第3四半期以降も米中貿易摩擦継続、英国のEU離脱等、世界経済の先行き不透明感は払拭できず、市場環境を見極めながら、着実に収益を確保していく方針。

(単位：億円)

	前年同期	19年度上期	増減	増減率	(参考)公表数値
売上高	1,690	1,634	△57	△3%	1,600
営業利益	180	150	△30	△17%	145
営業外収支	23	10	△13	△55%	-
経常利益	203	160	△42	△21%	155
特別収支	△2	△2	+0	-	-
税前利益	200	158	△42	△21%	-
当期純利益	145	116	△30	△21%	110

円/US\$	¥109.5	¥109.2	△0.3	-	¥105.0
円/€	¥129.5	¥122.0	△7.5	△6%	¥120.0
国産ナフサ (円/KL)	¥51,100	¥42,800	△8,300	△16%	¥39,000
アジア・ブタジエン(US\$/トン)	US\$1,614	US\$1,121	△493	△31%	US\$1,250

(単位：億円)



【対前年同期】

売上高 : $\triangle 83$ 億円、 $\triangle 8\%$

営業利益 : $\triangle 36$ 億円、 $\triangle 37\%$

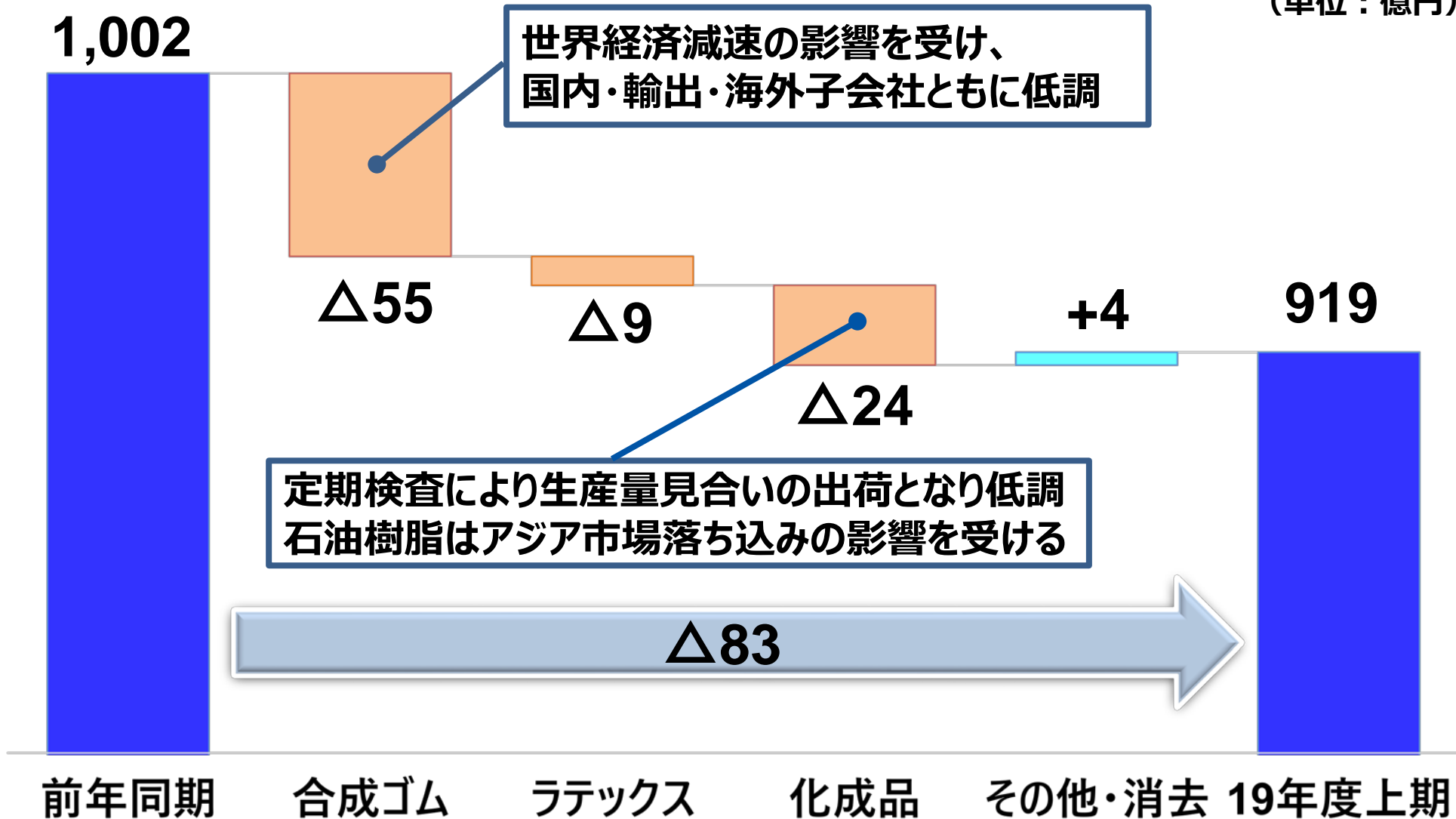
● 合成ゴム事業

自動車産業、一般工業用等への出荷低調により減収減益

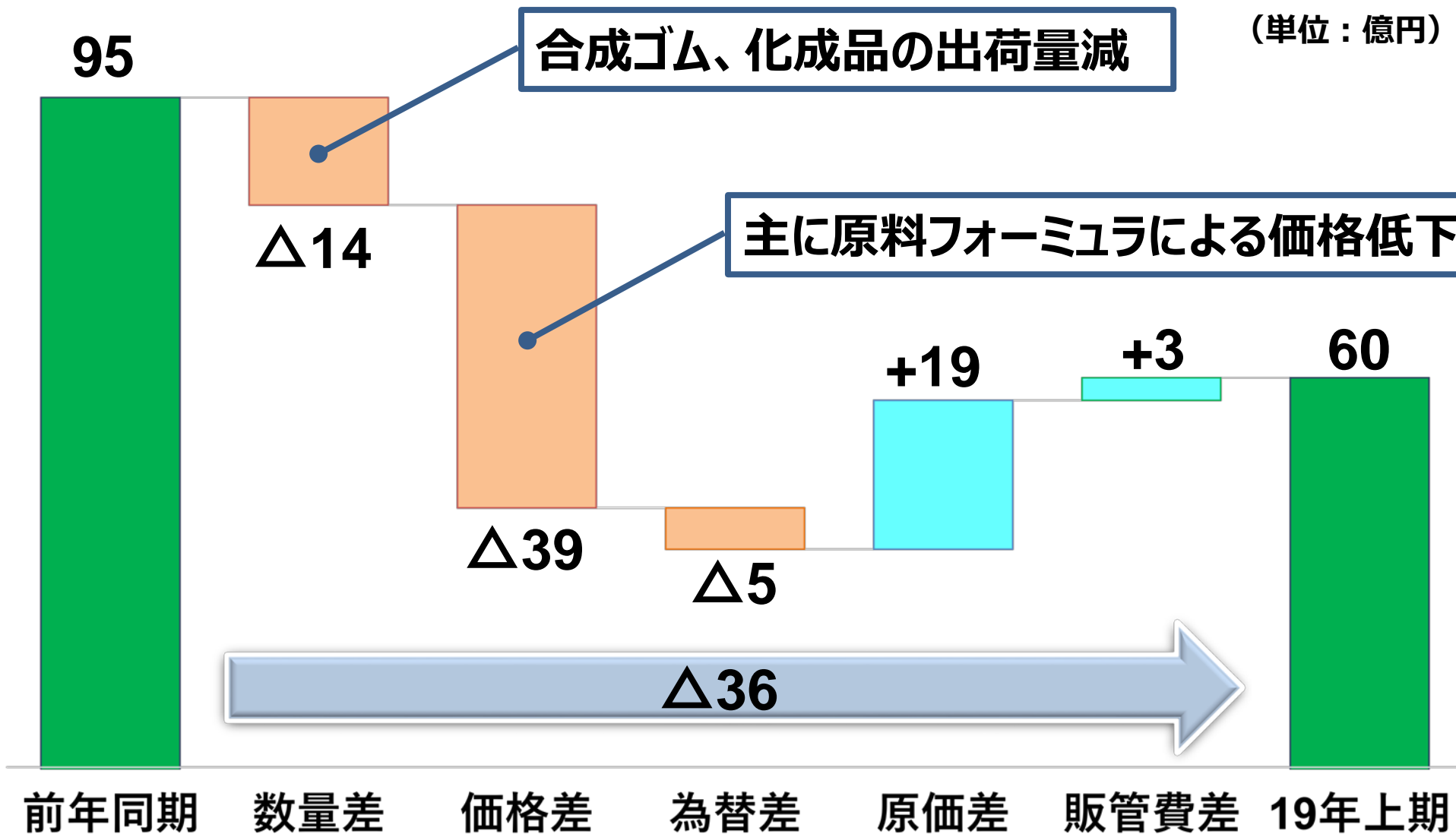
● 化成品事業

水島工場の定期検査実施による生産量見合いの出荷量となり減収減益

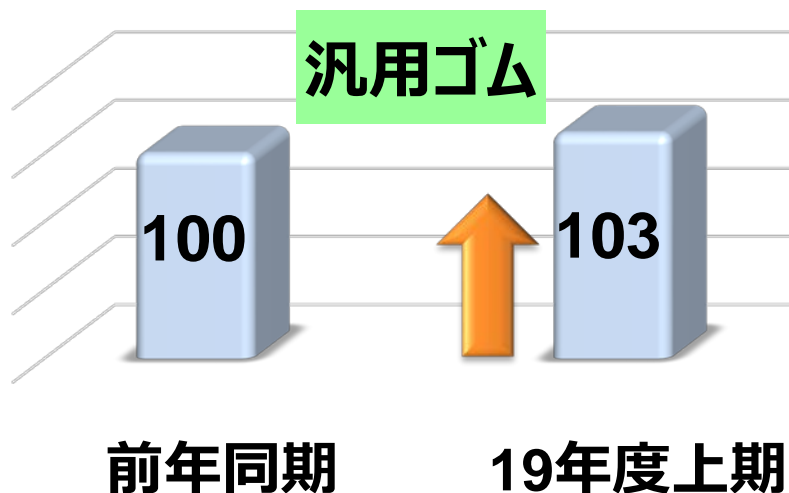
(単位：億円)



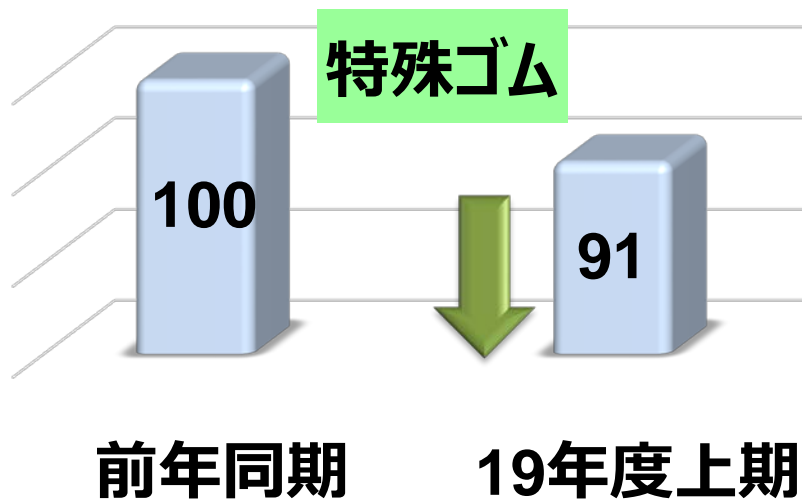
(単位：億円)



(出荷量ベース、前年同期を100とした場合の指数)

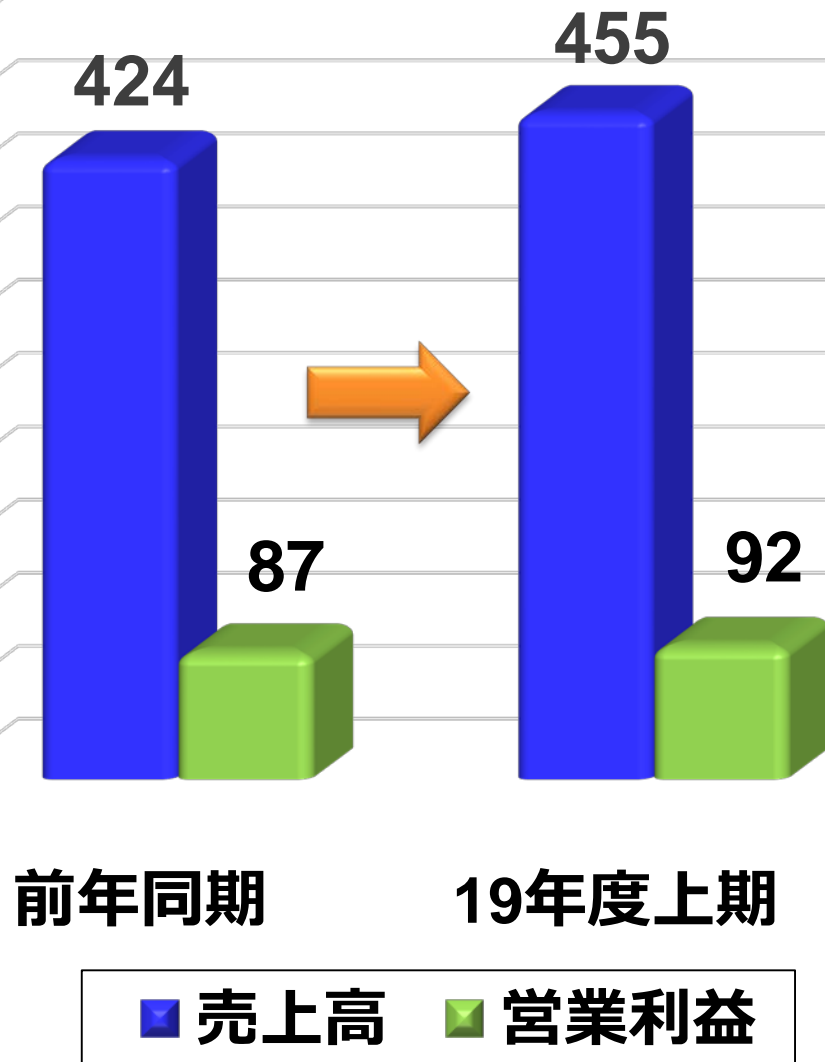


■ 汎用ゴム (主にタイヤ用途)
タイヤ向け需要は弱含みで推移するもBR、S-SBRが伸びて+3%



■ 特殊ゴム (主に自動車産業用途)
世界的な需要減少と市況低迷により△9%

(単位：億円)



【対前年同期】

売上高 : +31億円、+7%

営業利益 : +4億円、+5%

● 高機能樹脂事業

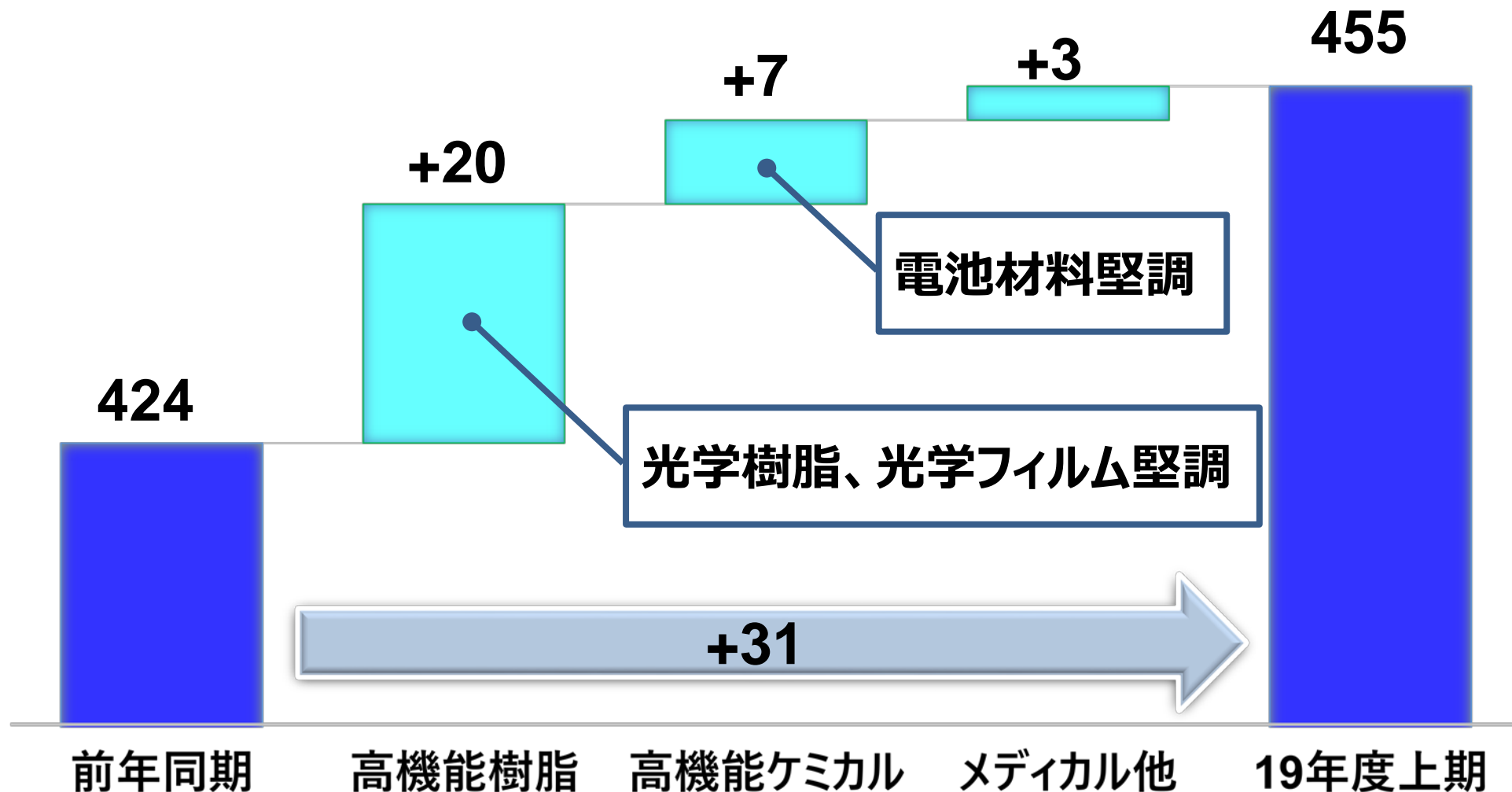
光学樹脂関連、光学フィルムともに
堅調に推移し増収増益

● 高機能ケミカル事業

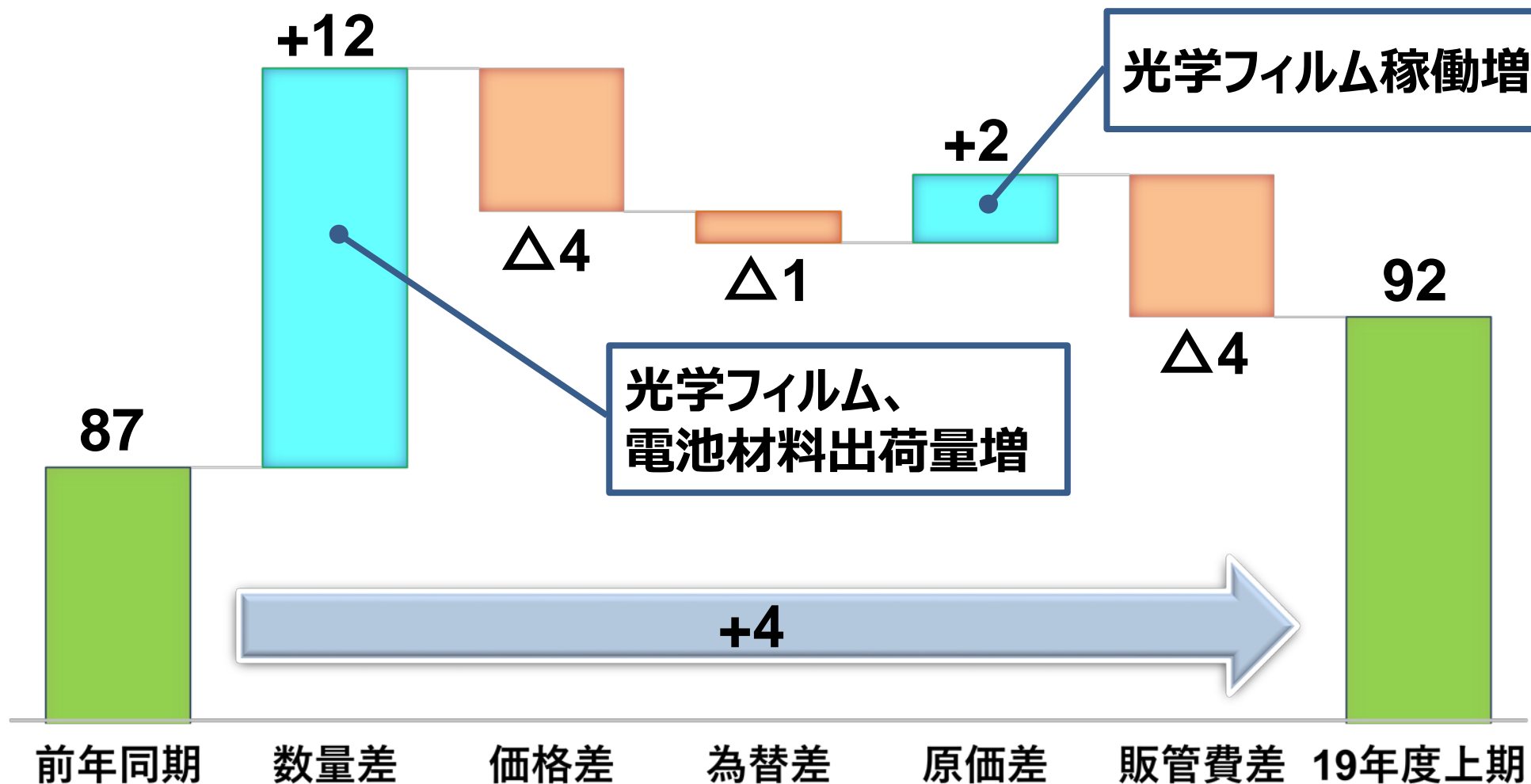
化学品：主力の水島工場が定期
検査を実施、生産量見合いの出荷
となり減収減益

電池材料：堅調に推移、増収増益

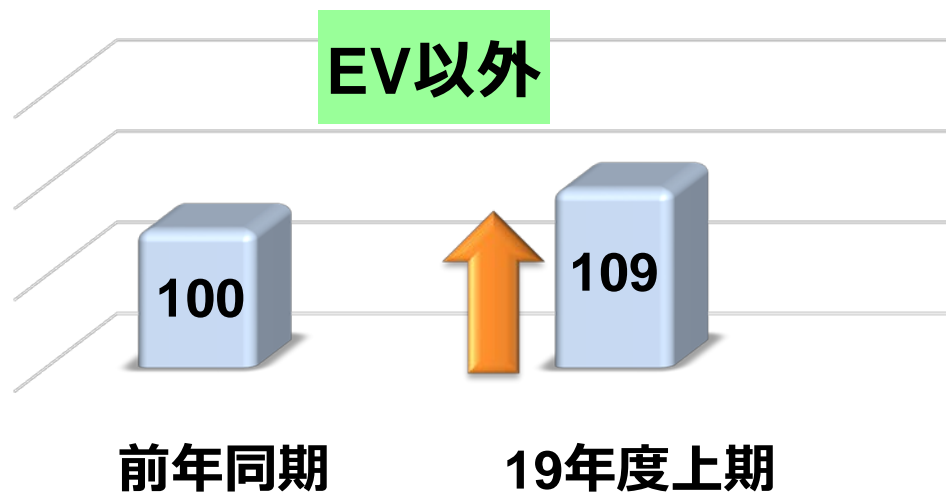
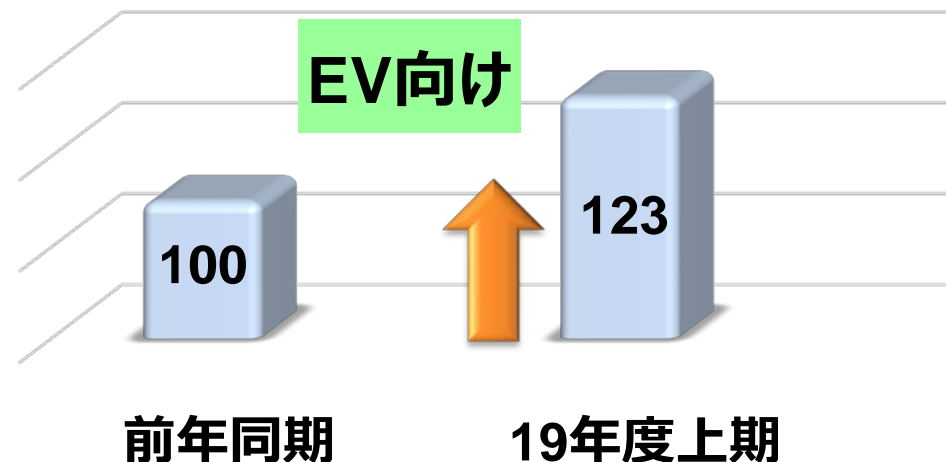
(単位：億円)



(単位：億円)



(出荷量ベース、前年同期を100とした場合の指数)



● EV向け : +23%

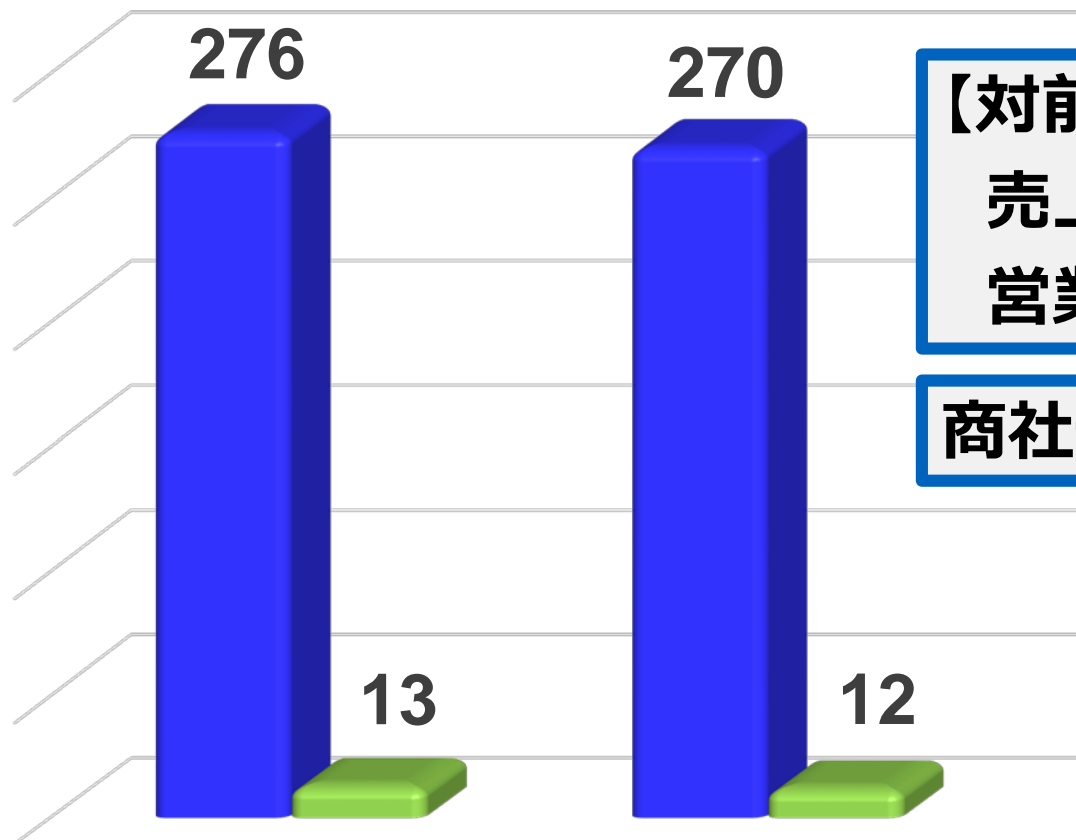
国内および欧米自動車メーカー向け販売量増

● EV以外 : +9%

パワーツール向け採用機種拡大

(出荷量の用途別切り分けは当社による調査)

（単位：億円）



【対前年同期】

売上高 : $\triangle 5$ 億円、 $\triangle 2\%$

営業利益 : $\triangle 1$ 億円、 $\triangle 8\%$

商社部門、RIM事業がやや落ち込み

前年同期

19年度上期

■ 売上高 ■ 営業利益

【流動資産】 △187億円

◆ 期末休日の影響等で減少

・ 未収入金 △119億円

・ 売上債権 △52億円

◆ 水島工場定期検査の影響

・ 棚卸資産 △34億円

【固定資産】 +48億円

◆ 資本的支出 130億円

・ 光学フィルム生産設備増設等

【流動負債】 △223億円

◆ 期末休日の影響等で減少

・ 買入債務 △204億円

【純資産】 +79億円

◆ 純利益116億円

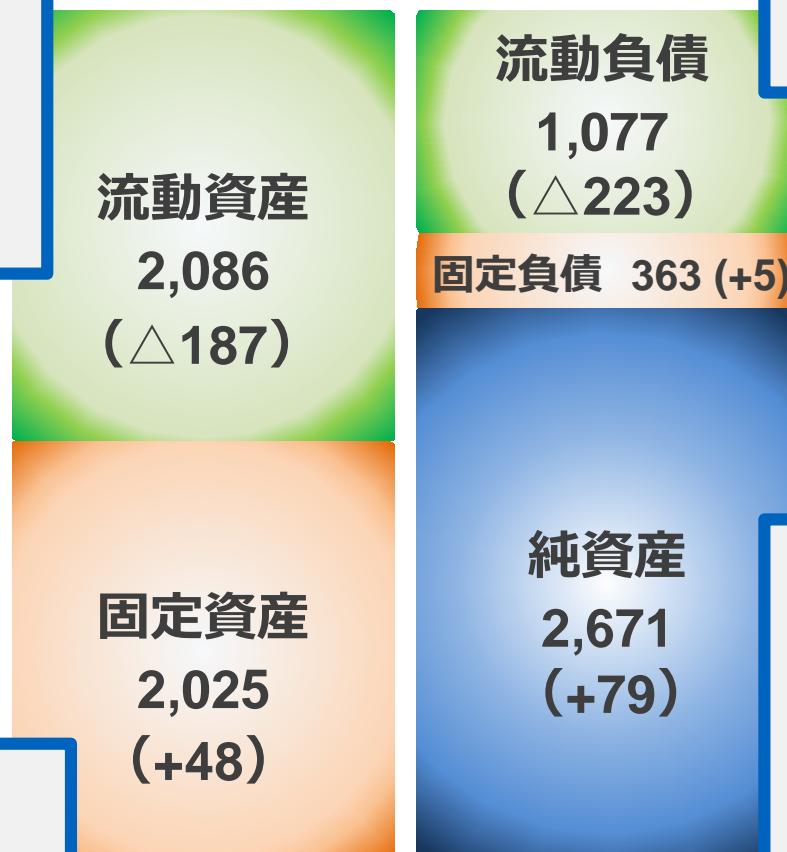
・ 利益剰余金 +94億円

◆ 財務指標

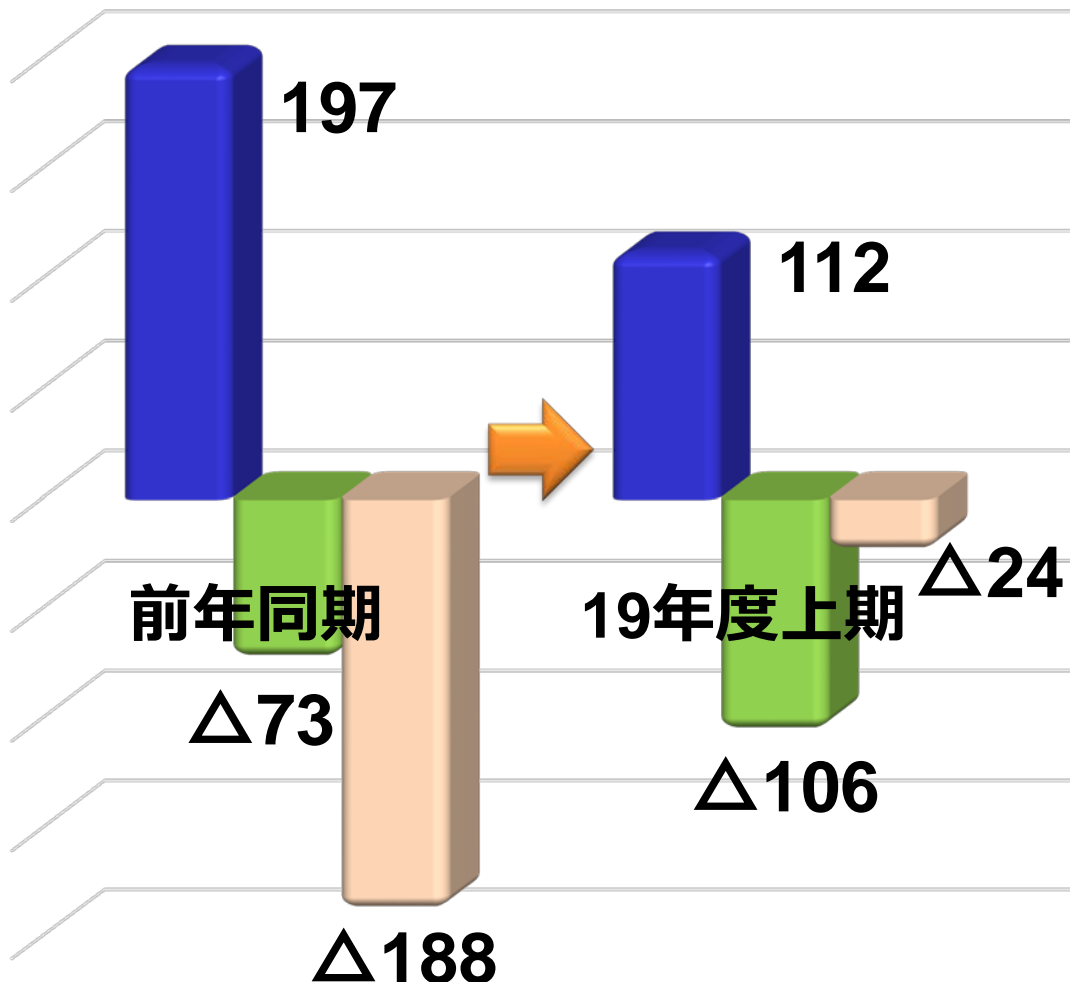
・ 有利子負債 241億円 (±0)

・ 自己資本比率 64.2%
(+3.9%)

・ D/Eレシオ 0.09 (±0.00)



(単位：億円)

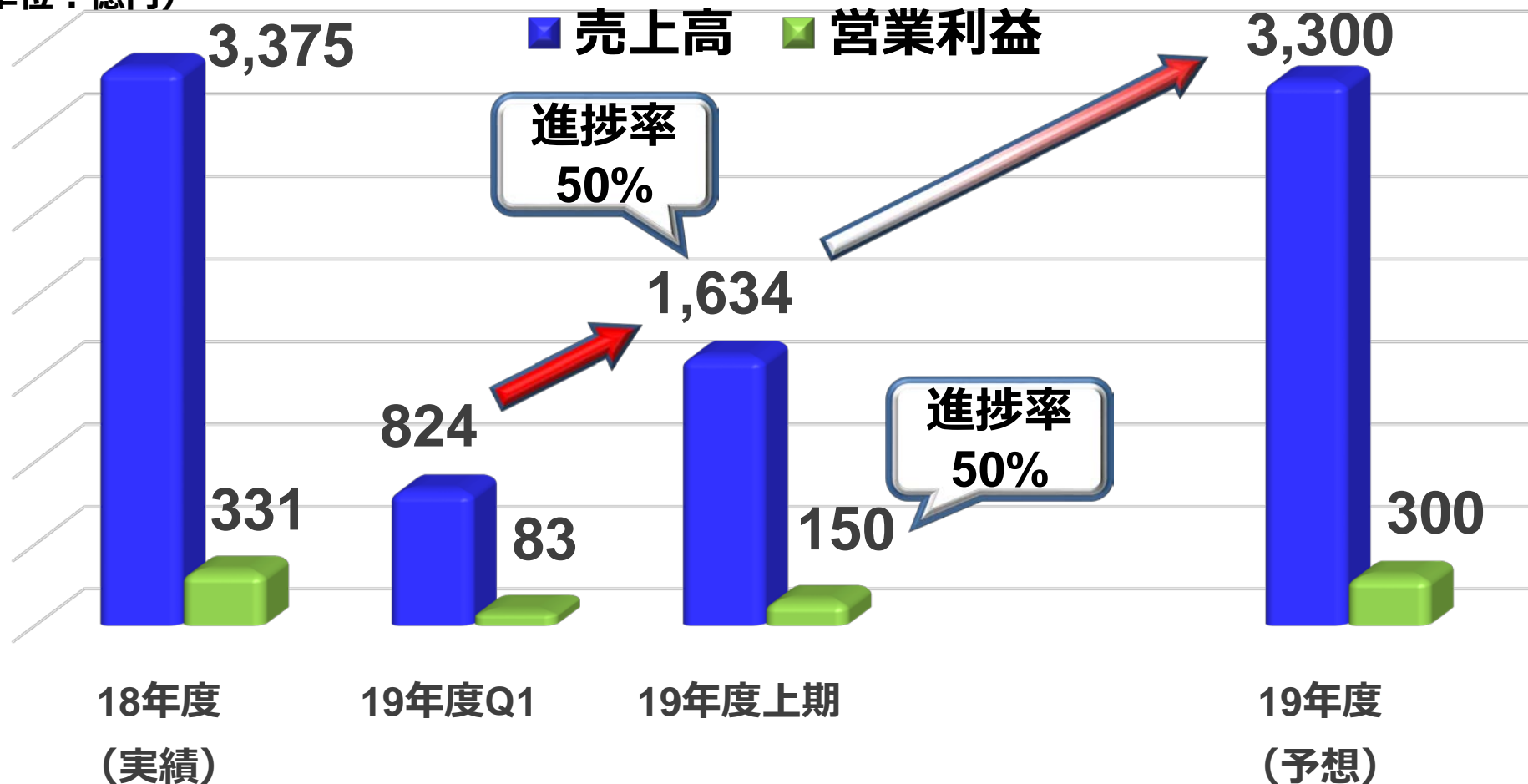


	前年同期	19年度上期
営業CF	197	112
投資CF	△73	△106
フリーCF	124	5
財務CF	△188	△24
CF	△65	△18

営業CF：
期末休日影響により前年同期より減少

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

(単位：億円)



2019年4月26日公表の業績予想の見直しは行っておりません

2019年度 第3四半期	2020年1月30日（木） 発表予定
-----------------	--------------------

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

以上

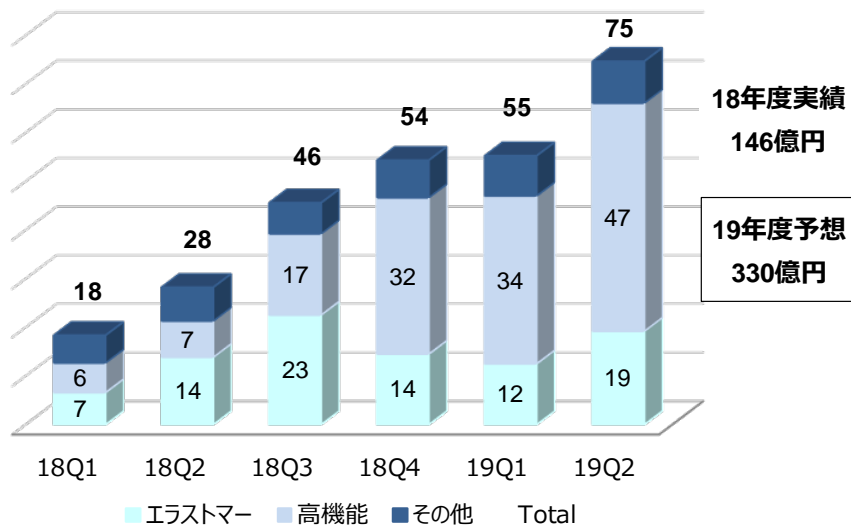
本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果となる場合があります。

	2019 第2四半期	2018 第2四半期	増減	増減率
(通期平均)				
円/ドル	109.2	109.5	-0.3	-0 %
円/ユーロ	122.0	129.5	-7.5	-6 %
原油 (\$/bbl)	66	75	-9	-11 %
国産ナフサ (円/kl)	42,800	51,000	-8,200	-16 %
アジア・ブタジイン (\$/ t)	1,121	1,614	-493	-31 %
イソレン (\$/ t)	1,360	1,540	-180	-12 %
天然ゴム (\$/ t)	1,430	1,364	67	5 %

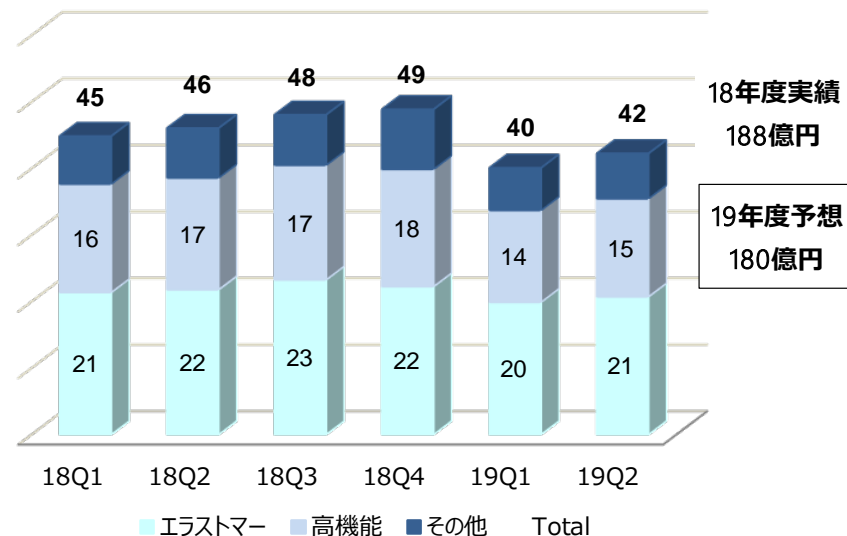
参考資料：四半期損益推移 億円

	2018				2019		1Q→2Q	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	増減	増減率
販売数量（千トン）	159	149	145	164	147	150	3	2%
ゴム	91	84	80	99	85	90	5	5%
ラテックス	31	29	30	32	30	31	0	1%
化成品	37	35	34	32	32	30	-2	-5%
売上高	837	854	855	829	824	809	-15	-2%
エラストマー素材	509	493	490	489	471	448	-22	-5%
ゴム	363	340	339	345	328	321	-6	-2%
ラテックス	44	51	48	45	45	42	-3	-6%
化成品	98	96	95	94	92	78	-14	-15%
その他・消去	4	6	7	5	7	7	0	3%
高機能材料	195	229	223	205	223	232	10	4%
高機能樹脂	116	148	138	117	142	143	1	1%
高機能ケミカル	66	68	70	72	67	75	8	12%
メディカル他	14	12	15	16	14	14	-0	0%
その他・消去	132	132	143	136	131	129	-2	-1%
営業利益	85	95	90	61	83	67	-16	-20%
営業利益率	10%	11%	11%	7%	10%	8%	-2 pt	
エラストマー素材	51	44	49	33	35	25	-10	-30%
高機能材料	34	53	42	32	51	41	-9	-18%
その他	-1	-2	-0	-3	-2	1	3	-

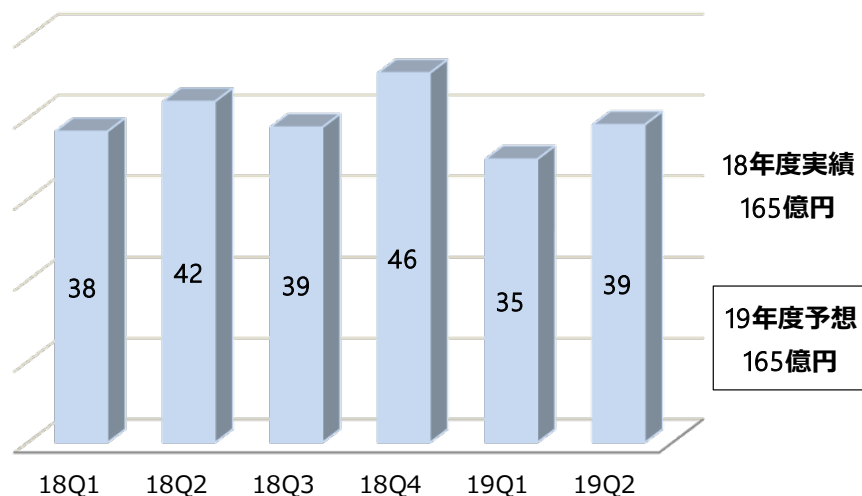
資本的支出 推移 (単位：億円)



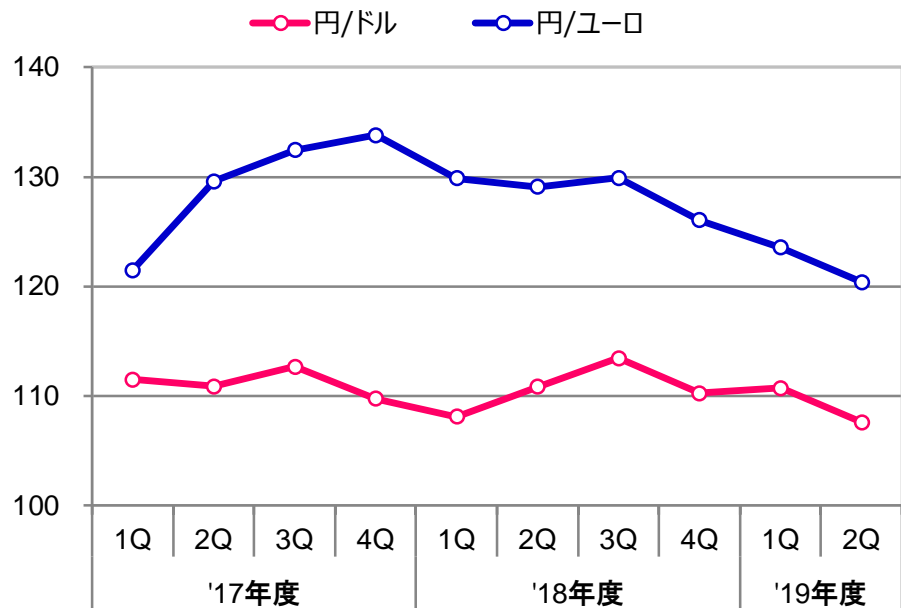
減価償却費 推移(単位：億円)



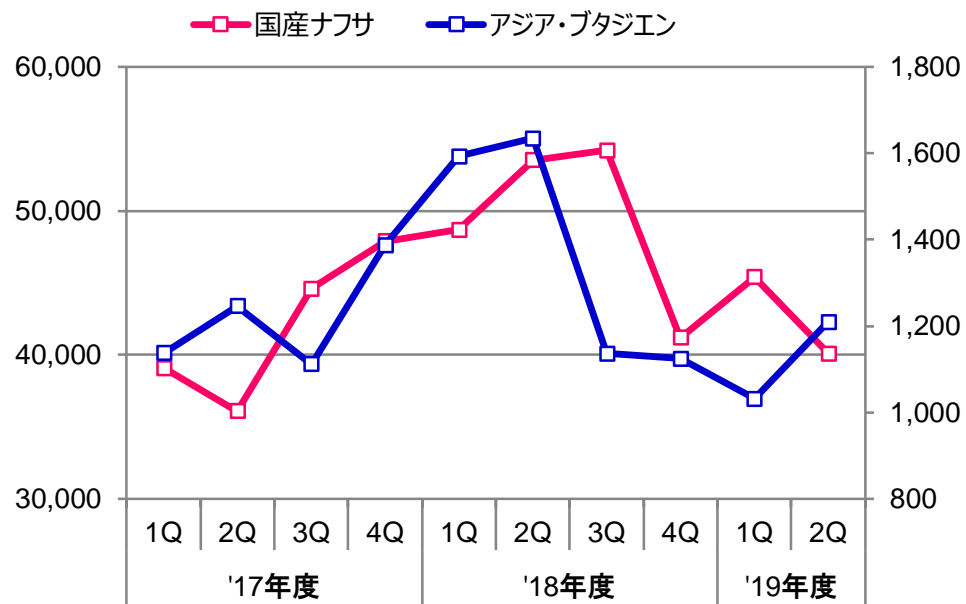
研究開発費 推移(単位：億円)



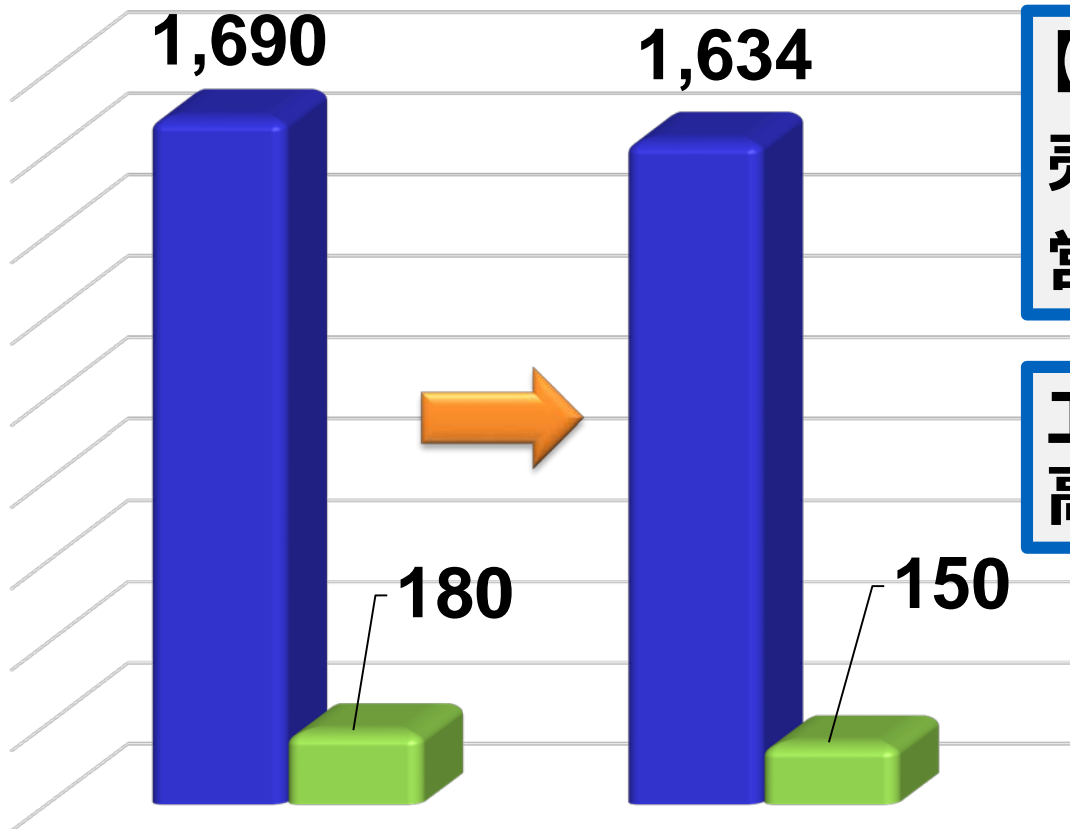
【為替推移】



【主原料推移】



(単位：億円)



【対前年同期】

売上高 : $\Delta 57$ 億円、 $\Delta 3\%$

営業利益 : $\Delta 30$ 億円、 $\Delta 17\%$

エラストマー素材は減収減益、
高機能材料は増収増益

前年同期

19年度上期

■ 売上高 ■ 営業利益